

要 望 書

《 国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 に つ い て 》

【 平 成 2 5 年 1 1 月 】

国 道 3 4 9 号 建 設 促 進 期 成 同 盟 会
会 長 根 本 匠

国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られていることは、誠に感謝に堪えません。

ご承知のごとく国道349号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線でありまして、その路程の多くが山間部を通過していることから、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい箇所が残されており、また、沿線市町村の中心市街地等を通る路線でも、歩道等交通安全施設の整備が遅れているため、近年の通行量の増加、特に大型車両の増加によって歩行者の安全が脅かされているなど、沿線住民からは一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で最も基本的な社会資本であることは言うまでもなく、特に、我々地方にとっては、道路網の整備なくして、地域の発展は成し得ません。

さらに未曾有の被害をもたらした東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬や緊急車両の通行といった「命をつなぐ道」として、その重要性が再認識されたところであり、特に国道349号は、高速道路等幹線道路の機能が失われた際にその機能を補完できる道路として、その整備が改めて重要視されております。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして幹線道路災害時の補完機能を強化するためにも、沿線市町村が求める整備促進要望箇所の改良整備等について、特段のお力添えを賜りますようお願いいたします。

国道349号整備促進要望箇所

県名	市町村名	要望番号	要 望 箇 所		事 業 名
			箇所名（地名）	延長 m	
福 島 県	伊 達 市	1	梁川町五十沢字柴崎地内 ～沼ノ平地内	1,500	国 道 改 築
		2	梁 川 バ イ パ ス	2,750	国 道 改 築
		3	保原町二井田字八百地 ～十二丁目地内	2,600	道 路 改 良
		4	保原町字四丁目～赤橋地内	450	道 路 改 良
		5	御 代 田 バ イ パ ス	3,500	国 道 改 築
	川 俣 町	6	大 綱 木 地 区	5,000	国 道 改 築
	二 本 松 市	7	戸 沢 字 六 角 地 内	400	局 部 改 良
		8	万 上 地 区	200	局 部 改 良
		9	浮 内 地 区	100	道 路 改 良
		10	戸 ノ 内 地 区	1,000	道 路 改 良
		11	宮 ノ 前 地 区	500	道 路 改 良
	田 村 市	12	船引町荒屋敷地内 ～軽井沢地内	2,600	道 路 改 良
		13	大越町牧野字笹ノ町地内	100	交通安全施設等整備 （歩道設置）
	小 野 町	14	谷 津 作 地 区	550	歩 道 設 置
	い わ き 市	15	三和町白石地内～戸沢地内	1,300	歩 道 設 置
		16	三 和 町 上 三 坂 地 区	700	交 差 点 改 良 交 歩 道 設 置
	平 田 村 古 殿 町	17	平田村檜坂地区 ～古殿町山上字才木草	2,150	道 路 改 良


県名	市町村名	要望番号	要望箇所		事業名
			箇所名(地名)	延長 m	
福島県	古殿町	18	山上竹貫田地内	1,100	道路改良
		19	長光地地内	2,000	道路改良
	鮫川村	20	強滝地区	400	道路改良
		21	滝ノ下地区	1,600	道路改良
		22	戸草・大竹地区	3,000	道路改良
	塙町	23	南田代地区	2,400	道路改良
		24	片貝地区	1,800	道路改良
	矢祭町	25	小田川2工区(宝坂)	1,340	国道第一種改良
		26	下関工区 (小田川・下関河内・上関河内)	4,400	道路改良

要望番号	市町村名	福島県伊達市	
1	要望箇所	梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内	
		事業名	国道改築
		延長 (m)	1,500
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市梁川町五十沢字柴崎地内～沼ノ平地内の区間は、阿武隈川の増水時には冠水によって通行不能となる箇所であり、幅員も狭隘で屈曲が続くため、対面交差を行うためには一方が待避所まで後退しなければなりません。</p> <p>また、本区間にある滝沢橋は、昭和42年に架設され、現在、老朽化も著しく、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	




要望番号	市町村名	福島県伊達市	
2	要望箇所	梁川バイパス	
		事業名	国道改築
		延長 (m)	2,750
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市梁川町市街地を縦貫する本路線は、幅員が狭隘な上、交通量の増大等により朝夕のラッシュ時に限らず、日中においても交通渋滞が生じております。</p> <p>梁川バイパスは、現在、一部供用部分があるものの、依然として市街地を通過せざるを得ず、特に梁川町山舟生、白根地区に3箇所の碎石場があるため、大型ダンプの往来も激しく、また歩道も狭隘なため、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
3	要望箇所	保原町二井田字八百地～十二丁目地内	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	2, 6 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市保原町二井田字八百地～十二丁目地区間は、2車線区間で交通量の多い区間ではありますが、車道並びに歩道の幅員が狭く、また、歩道未整備区間もあるため、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福島県伊達市	
4	要望箇所	保原町字四丁目～赤橋地内	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	450
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市保原町字四丁目～赤橋地内の区間は、伊達市の中心市街地に位置し、自動車、歩行者及び自転車の通行量が大変多い区間ではありますが、自歩道が未整備であり、加えて一部区間では、幅員が狭隘なため一方通行区間となっているなど、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	




要望 番号	市町村名	福 島 県 伊 達 市	
5	要望箇所	御代田バイパス	
		事業名	国道改築
		延長 (m)	3, 5 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>伊達市月館町御代田工区間は、幅員が狭隘にして歩道も無く、特に大型車両が対面交差を行うためには一時停止を行わなければならないなど、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 川 俣 町	
6	要望箇所	大 綱 木 地 区	
		事業名	国道改築
		延長 (m)	5,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>川俣町の仁井町～大綱木境木間は、幅員が狭隘でカーブが連続しており、また、大型車両の通行も多く、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
7	要望箇所	戸沢字六角地内	
		事業名	局 部 改 良
		延長 (m)	4 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市戸沢字六角地内は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため、路面凍結によるスリップ事故も多発しており、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
8	要望箇所	万 上 地 区	
		事 業 名	局 部 改 良
		延 長 (m)	2 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市万上地区は、2車線で歩道も整備されている区間ではありますが、カーブで見通しが悪く、対向車同士の接触事故が多発しており、特に、冬期間は日当たりが悪いため路面が凍結し、自損事故等も多発しており、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 二 本 松 市	
9	要望箇所	浮 内 地 区	
		事 業 名	道 路 改 良
		延 長 (m)	1 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市東新殿字浮内地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。</p> <p>さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	




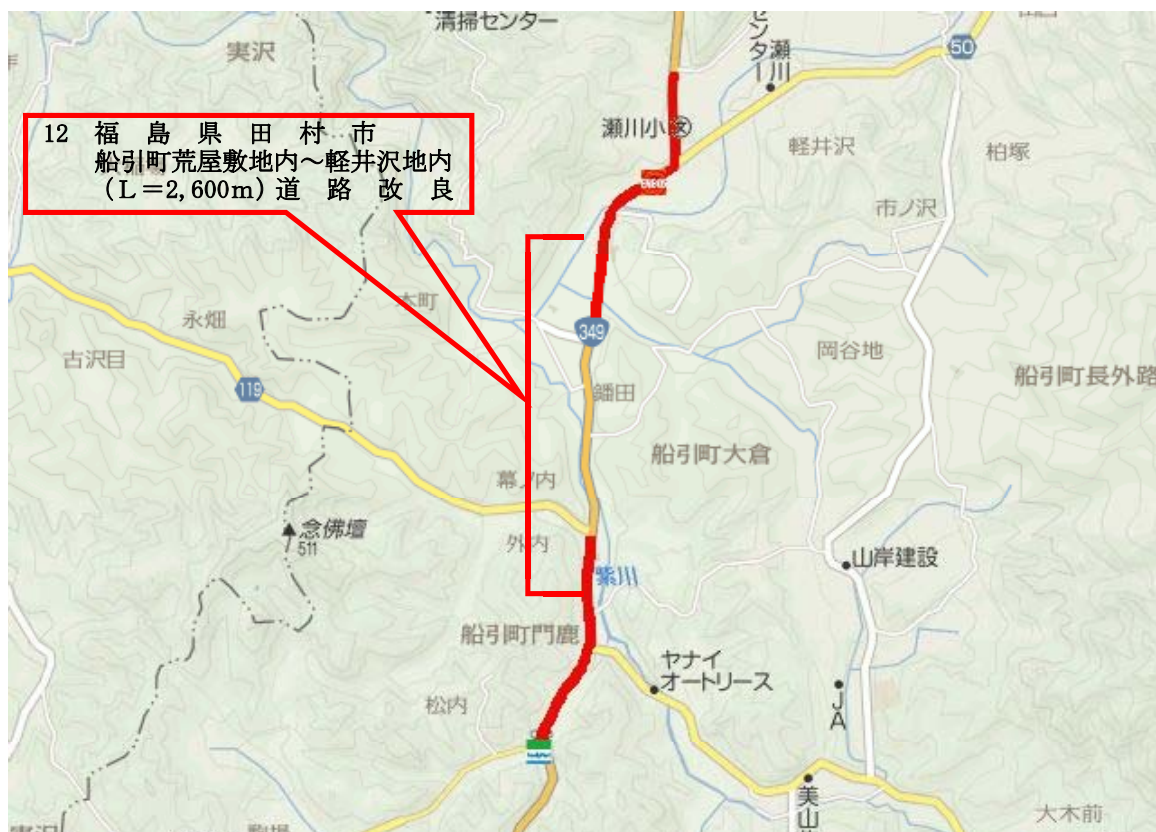
要望 番号	市町村名	福島県二本松市	
10	要望箇所	戸ノ内地区	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	1,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市杉沢字戸ノ内地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。</p> <p>さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	




要望 番号	市町村名	福島県二本松市	
11	要望箇所	宮ノ前地区	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	500
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>二本松市杉沢字宮ノ前地区は、屈曲した視距の悪い区間で、集落へ通ずるT字交差となっております。</p> <p>さらに、本区間は通学路としても利用されており、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
12	要望箇所	船引町荒屋敷地内～軽井沢地内	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	2,600
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>田村市船引町門鹿字荒屋敷地内～新館字軽井沢地内では、荒屋敷地内で国道349号と主要地方道浪江・三春線が交差する交通量の多い交差点であるが、この交差点の信号が三現示式信号機であるため、朝夕のラッシュ時には甚だしい渋滞を引き起こし、車両通行に支障を来しております。</p> <p>また、新館字軽井沢地内は、幅員が狭隘なため大型車両との対面交差が困難な状況にあります。</p> <p>さらに、本区間は、歩道の整備がされておらず、特に、軽井沢地内の沿線には、小・中学校があるため、通学中の児童生徒が危険にさらされております。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 田 村 市	
13	要望箇所	大越町牧野字笹ノ町地区	
		事 業 名	交通安全施設等整備 (歩道設置)
		延 長 (m)	1 0 0
<p>《現状と要望事項》</p> <p>田村市大越町牧野字笹ノ町地区は、通学路でありながら、狭路で車両防護柵もない歩道未設置箇所があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に歩道等交通安全施設の整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>			



要望 番号	市町村名	福 島 県 小 野 町	
14	要望箇所	谷 津 作 地 区	
		事 業 名	歩 道 設 置
		延 長 (m)	5 5 0
		≪現状と要望事項≫ 小野町谷津作地区は、近隣小・中学校の通学路として利用されているが、歩道が整備されていない区間があり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。 つきましては、早急に歩道を設置できるよう、特段のお力添えを賜りたい。	




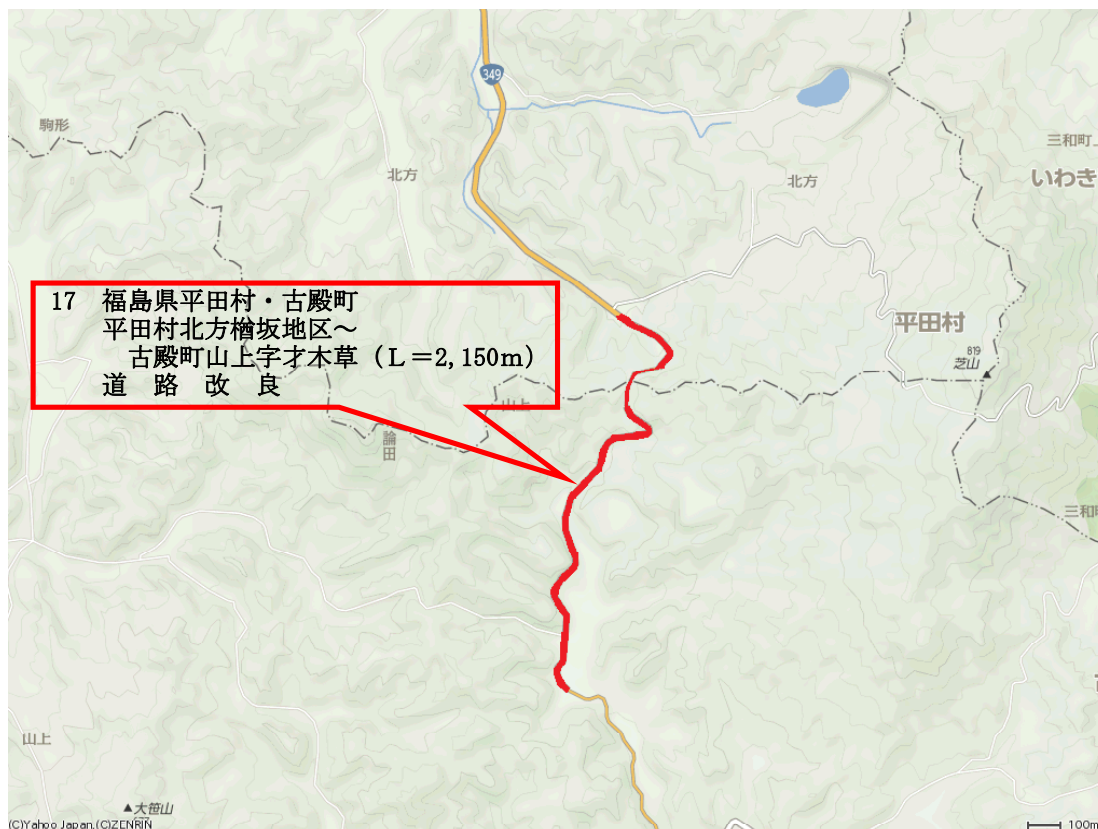
要望 番号	市町村名	福島県いわき市	
15	要望箇所	三和町白石地内～戸沢地内	
		事業名	歩道設置
		延長 (m)	1,300
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>いわき市三和町中三坂字白石地内～戸沢地内は、国道49号と磐越自動車道小野IC間にあるため、両方面に向かう大型車両の通行が非常に多い区間です。</p> <p>しかしながら、本区間には、歩道が整備されておらず、また、街灯も設置されていないため、特に夕刻や夜間の歩行者が危険にさらされています。</p> <p>つきましては、早急に歩道を設置できるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



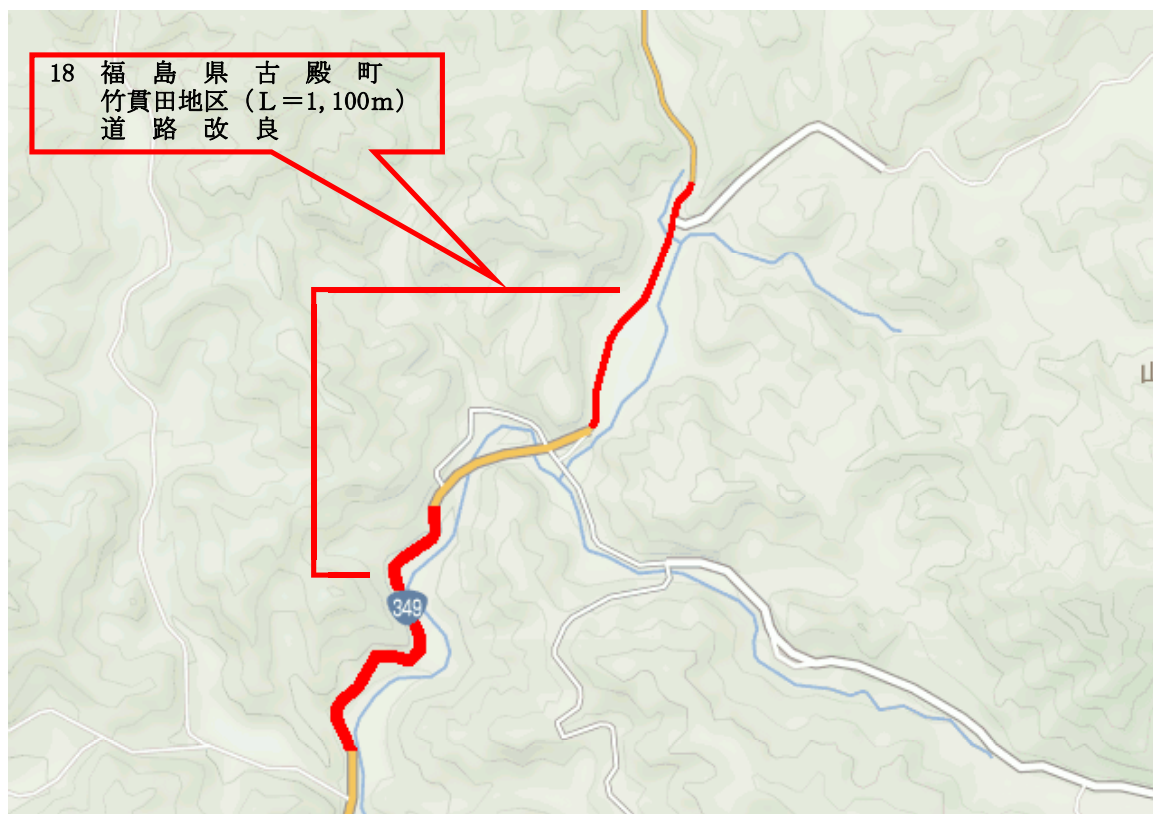
要望番号	市町村名	福島県いわき市	
16	要望箇所	三和町上三坂地区	
		事業名	交差点改良・歩道設置
		延長 (m)	700
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>いわき市三和町上三坂地区にある交差点は、物流指定路線である国道49号と交差しておりますが、その交差形状が悪く、国道349号から上り方面の国道49号への左折及び下り方面の国道49号から国道349号への右折において、大型車両の通行が非常に危険な状況にあります。</p> <p>また、本交差点周辺の国道349号は、大型車両の交通量が多い区間ではありますが、歩道が整備されておらず、歩行者が危険にさらされております。</p> <p>つきましては、早急に交差点の改良並びに交差点周辺への歩道の設置について、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福島県平田村・古殿町	
17	要望箇所	平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	2,150
<p>《現状と要望事項》</p> <p>平田村北方字檜坂地区～古殿町山上字才木草地区は、幅員狭隘にして屈曲が続いており、また急勾配でもあるため、特に、大型車両との対面交差が困難な状況にあり、車両交差を行うためには、坂道で見通しの悪い状況下で一方が待避所等まで後退しなければならないなど、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備を図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>			



要望 番号	市町村名	福 島 県 古 殿 町	
18	要望箇所	竹貫田地区	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	1, 100
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>古殿町山上字竹貫田地内間は、幅員狭隘にして屈曲が続いているため、接触事故等が多発しております。</p> <p>また、本区間は、路線バスやスクールバスが運行されておりますが、それら大型車両が対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならないなど、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 古 殿 町	
19	要望箇所	長 光 地 地 内	
		事 業 名	道 路 改 良
		延 長 (m)	2, 0 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>古殿町鎌田字長光地地内間は、特に交差点付近の幅員が狭隘で、また急カーブも多いため、交通事故が多発しております。</p> <p>さらに、本区間は、福島空港の開港並びに小名浜港の整備に伴い、大型車両の通行が年々増加しておりますが、対面交差が困難であり、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
20	要望箇所	強 滝 地 区	
		事 業 名	道 路 改 良
		延 長 (m)	4 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>鮫川村西山字強滝地内は、一部は改良されておりますが、未改良区間は狭路で急勾配、急カーブが連続しており、特に冬期間においては、路面凍結によるスリップ事故が多発するなど、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
21	要望箇所	滝ノ下地区	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	1,600
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>鮫川村赤坂東野字滝ノ下地区内は、幅員が狭隘で屈曲が続いており、普通車両同士の対面交差も容易ではなく、接触事故が多発しております。</p> <p>また、本区間は、幼児バス・スクールバスが運行されている路線でもあり、これら大型車両との交差を行うためには、一方が民家の入口などに移動しなくてはならないなど、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	




要望 番号	市町村名	福 島 県 鮫 川 村	
22	要望箇所	戸 草 ・ 大 竹 地 区	
		事 業 名	道 路 改 良
		延 長 (m)	3, 0 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>鮫川村赤坂東野字戸草地内は、幅員が狭隘の上、屈曲が連続する俗称「つづらおり」区間であり、接触事故が多発しております。</p> <p>また、スクールバス等大型車両との対面交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、普通車同士であっても路肩、あるいは側溝掛蓋の上を利用しなければ交差が出来ないなど、大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
23	要望箇所	南 田 代 地 区	
		事 業 名	道 路 改 良
		延長 (m)	2, 4 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>塙町南田代地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならないなど、歩行者・車両通ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



要望 番号	市町村名	福 島 県 塙 町	
24	要望箇所	片 貝 地 区	
		事 業 名	道 路 改 良
		延 長 (m)	1, 8 0 0
<p>《現状と要望事項》</p> <p>塙町片貝地区は、幅員狭隘にして屈曲が多く、対面交差は普通車同士が限界であり、大型車両との交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならないが、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>			



要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
25	要望箇所	小田川2工区(宝坂)	
		事 業 名	国道第一種改良
		延長 (m)	1, 3 4 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>矢祭町小田川2工区は、通学路、バス路線となっておりますが、人家が密接しているため幅員が極めて狭く、また、カーブも多いため、大型車両が交差を行うためには、一方が一旦停止しなければならないなど、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>また現在、本区間ではバイパス路線が暫定的に工事が行われておりますが、未だ未供用であります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



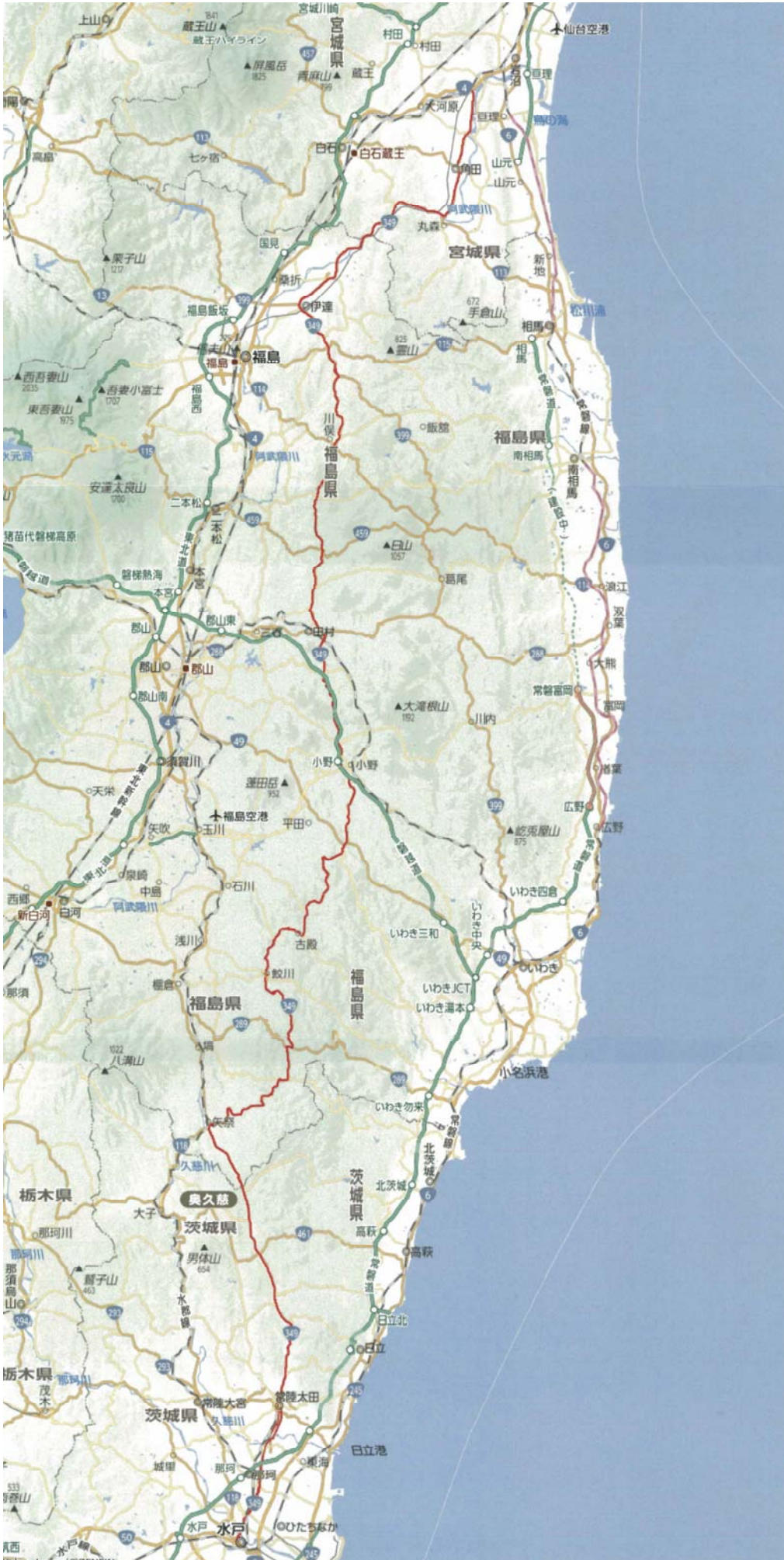
要望 番号	市町村名	福 島 県 矢 祭 町	
26	要望箇所	下関工区 (小田川・下関河内・上関河内地内)	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	4,400
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>矢祭町を通る国道349号は、茨城県側の常磐自動車道那珂ICと福島県南部を結ぶ路線として、さらには福島空港や会津・県北地方の観光地へのアクセス道路として重要な路線であります。</p> <p>特に、平成13年に茨城県側が全線整備されてからは、大型車両の通行が増加しておりますが、矢祭町下関工区は、大型車両同士の対面交差が難しく、歩行者・車両ともに大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、早急に改良整備が図れるよう、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠 (衆 議 院 議 員)
	高 橋	靖 (茨城県 水 戸 市 長)
	吉 成	明 (茨城県 日 立 市 長)
副会長	大 久 保 太	一 (茨城県 常陸太田市 長)
	海 野	徹 (茨城県 那 珂 市 長)
	清 水 敏	男 (福島県 い わ き 市 長)
	古 張	允 (福島県 矢 祭 町 長)
副会長	菊 池 基	文 (福島県 塙 町 長)
	大 樂 勝	弘 (福島県 鮫 川 村 長)
	岡 部 光	徳 (福島県 古 殿 町 長)
	澤 村 和	明 (福島県 平 田 村 長)
	大 和 田	昭 (福島県 小 野 町 長)
	富 塚 宥	暲 (福島県 田 村 市 長)
	三 保 恵	一 (福島県 二 本 松 市 長)
	古 川 道	郎 (福島県 川 俣 町 長)
	仁 志 田 昇	司 (福島県 伊 達 市 長)
副会長	保 科 郷	雄 (宮城県 丸 森 町 長)
	大 友 喜	助 (宮城県 角 田 市 長)
	滝 口	茂 (宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県
柴田町
角田市
丸森町

◎福島県
伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県
常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市

要 望 書

《 国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 に つ い て 》

【 平 成 2 5 年 1 1 月 】

国 道 3 4 9 号 建 設 促 進 期 成 同 盟 会
会 長 根 本 匠

国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られていることは、誠に感謝に堪えません。

ご承知のごとく国道349号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線でありまして、その路程の多くが山間部を通過していることから、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい箇所が残されており、また、沿線市町村の中心市街地等を通る路線でも、歩道等交通安全施設の整備が遅れているため、近年の通行量の増加、特に大型車両の増加によって歩行者の安全が脅かされているなど、沿線住民からは一日も早い改良整備が強く求められております。

道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で最も基本的な社会資本であることは言うまでもなく、特に、我々地方にとっては道路網の整備なくして、地域の発展は成し得ません。

さらに未曾有の被害をもたらした東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬や緊急車両の通行といった「命をつなぐ道」として、その重要性が再認識されたところであり、特に国道349号は、高速道路等幹線道路の機能が失われた際にその機能を補完できる道路として、その整備が改めて重要視されております。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして幹線道路災害時の補完機能を強化するためにも、沿線市町村が求める整備促進要望箇所の改良整備等について、特段のお力添えを賜りますようお願いいたします。

国道 3 4 9 号 整備 促進 要望 箇所

県名	市町村名	要望 番号	要 望 箇 所		事 業 名
			箇所名 (地名)	延長 m	
宮 城 県	柴 田 町	1	白 幡 橋	168	橋 梁 整 備
	角 田 市	2	江 尻 ～ 小 坂 地 区	2,000	交 通 安 全 施 設 等 整 備 事 業
	丸 森 町	3	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	6,000	道 路 改 良

要望 番号	市町村名	宮 城 県 柴 田 町	
1	要望箇所	白 幡 橋	
		事業名	橋 梁 整 備
		延長 (m)	1 6 8
		≪現状と要望事項≫ 柴田町を縦走する一級河川「白石川」に架かる「白幡橋」は、昭和13年に架設以来、既に75年が経過し、老朽化が著しい状況にあります。 「白幡橋」は、国道349号を利用し角田市や丸森町、そして伊達市梁川町など福島県方面へ通じる重要な橋梁として年々通行量が増加しており、さらに主要地方道白石・柴田線とも重複しているため、朝夕のラッシュ時は慢性的な交通渋滞が生じております。 平成20年度に県において地覆、高欄、照明灯の交換及び歩道橋塗装替えなどの補修工事が施工されたところですが、今後もさらなる交通量の増加が予想されるため、早急に架替えができるよう、特段のお力添えを賜りたい。	



要望 番号	市町村名	宮 城 県 角 田 市	
2	要望箇所	江 尻 ～ 小 坂 地 区	
		事 業 名	交通安全施設等整備
		延長 (m)	2, 0 0 0
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>角田市江尻～小坂地区については、平成11年度より交通安全施設等整備事業が実施され、I期工事(L=1,000m)が平成21年度に完了したところであります。</p> <p>しかしながら本箇所は、一級河川「阿武隈川」の堤防の一部を国道として利用しており、両側にガードレールが設置されている箇所もあり、近年の交通量の増加、特に大型車両の増加により、歩道未整備区間での歩行者・自転車が大変危険な状況にあります。</p> <p>つきましては、II期工事(L=1,000m)の早期完成とその先の歩道の整備について、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



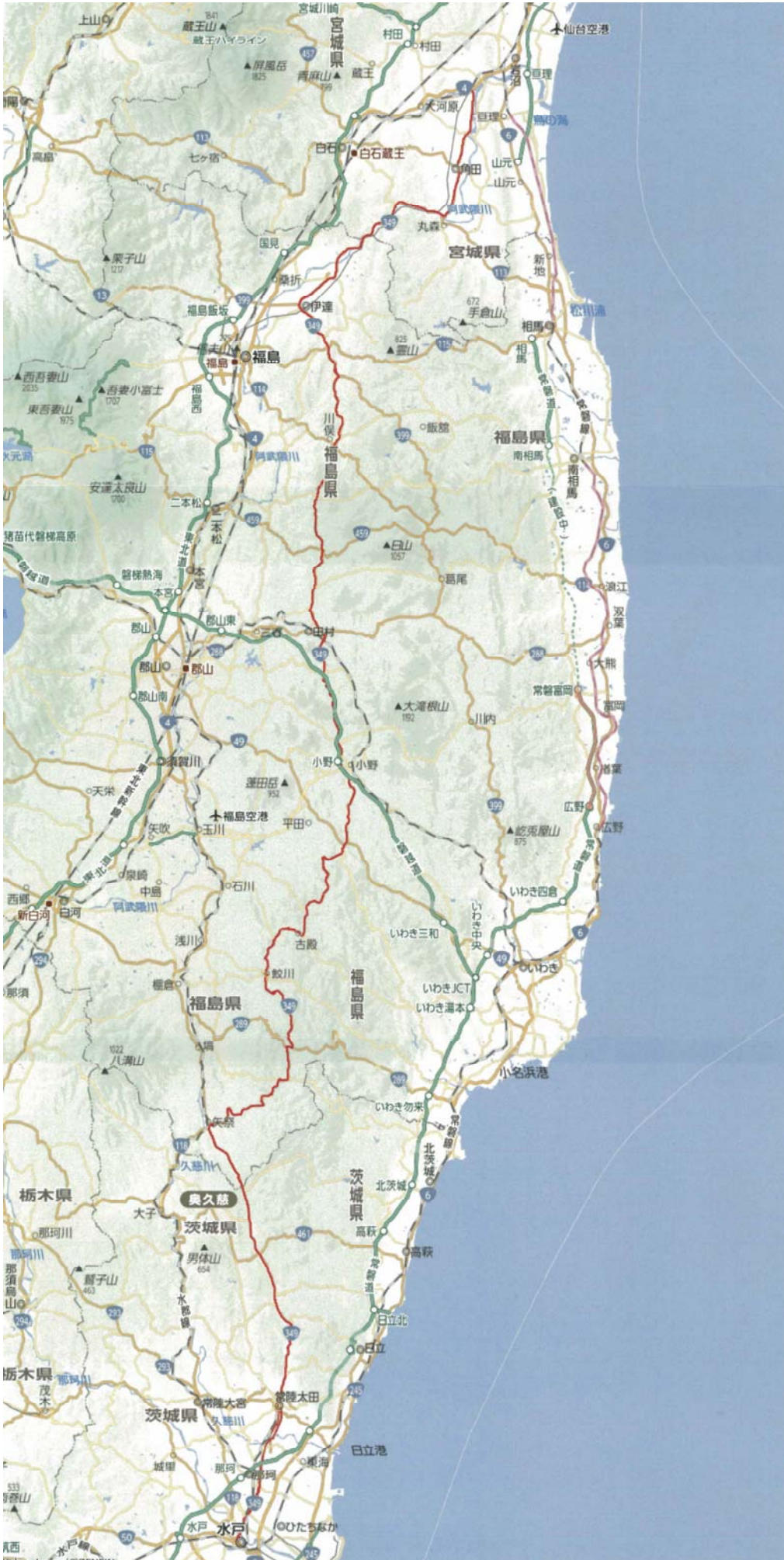
要望番号	市町村名	宮 城 県 丸 森 町	
3	要望箇所	大 張 川 張 ～ 耕 野 地 区	
		事業名	道路改良
		延長 (m)	6,000
		<p>《現状と要望事項》</p> <p>丸森町大張川張～耕野地区は、宮城県と福島県の県境付近で近接する「国道4号」や「東北自動車道」で大規模な災害が発生し、双方が通行止めとなった際には、迂回路としての役割を果たせる路線であります。しかしながら、本区間は、幅員が狭隘で屈曲が続くため、接触事故が多発している区間であり、特に、大型車両は、対面交差が不可能であり、車両交差を行うためには、一方が待避所まで後退しなければならず、大変危険な状況にあります。</p> <p>さらに、阿武隈川の増水時には冠水によって交通不能となる区間でもあります。</p> <p>つきましては、本区間が国道4号・東北自動車道の迂回路として、その機能を十分に果たせるよう、早急なる改良整備について、特段のお力添えを賜りたい。</p>	



国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠 (衆 議 院 議 員)
	高 橋	靖 (茨城県 水 戸 市 長)
	吉 成	明 (茨城県 日 立 市 長)
副会長	大 久 保 太	一 (茨城県 常陸太田市 長)
	海 野	徹 (茨城県 那 珂 市 長)
	清 水 敏	男 (福島県 い わ き 市 長)
	古 張	允 (福島県 矢 祭 町 長)
副会長	菊 池 基	文 (福島県 塙 町 長)
	大 樂 勝	弘 (福島県 鮫 川 村 長)
	岡 部 光	徳 (福島県 古 殿 町 長)
	澤 村 和	明 (福島県 平 田 村 長)
	大 和 田	昭 (福島県 小 野 町 長)
	富 塚 宥	暲 (福島県 田 村 市 長)
	三 保 恵	一 (福島県 二 本 松 市 長)
	古 川 道	郎 (福島県 川 俣 町 長)
	仁 志 田 昇	司 (福島県 伊 達 市 長)
副会長	保 科 郷	雄 (宮城県 丸 森 町 長)
	大 友 喜	助 (宮城県 角 田 市 長)
	滝 口	茂 (宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県
柴田町
角田市
丸森町

◎福島県
伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県
常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市

要 望 書

《 国 道 3 4 9 号 整 備 促 進 に つ い て 》

【平成25年11月】

国道349号建設促進期成同盟会
会 長 根 本 匠

国道349号の整備促進について

国道349号は、昭和50年4月に国道へ昇格以来、漸次改良整備が進められ、着々とその成果が得られていることは、誠に感謝に堪えません。

ご承知のごとく国道349号は、茨城県水戸市を起点に福島県の阿武隈山系を縦断しながら宮城県柴田町に至る実延長約260km、沿線3県・18市町村に及ぶ路線でありまして、その路程の多くが山間部を通過していることから、未だ各所に幅員が狭隘で、かつ、屈曲の甚だしい箇所が残されており、また、沿線市町村の中心市街地等を通る路線でも、歩道等交通安全施設の整備が遅れているため、近年の通行量の増加、特に大型車両の増加によって歩行者の安全が脅かされているなど、沿線住民からは一日も早い改良整備が強く求められております。


道路は、人と暮らしを支え、豊かな地域社会を形成する上で最も基本的な社会資本であることは言うまでもなく、特に、我々地方にとっては、道路網の整備なくして、地域の発展は成し得ません。

さらに未曾有の被害をもたらした東日本大震災において「道路」は、支援物資の運搬や緊急車両の通行といった「命をつなぐ道」として、その重要性が再認識されたところであり、特に国道349号は、高速道路等幹線道路の機能が失われた際にその機能を補完できる道路として、その整備が改めて重要視されております。

つきましては、沿線市町村の振興発展と沿線住民の安全・安心の確保、そして幹線道路災害時の補完機能を強化するためにも、沿線市町村が求める整備促進要望箇所の改良整備等について、特段のお力添えを賜りますようお願いいたします。

国道 3 4 9 号 整備 促進 要望 箇所

県名	市町村名	要 望 箇 所		事 業 名
		箇所名 (地名)	延長 m	
茨城県	那珂市 常陸太田市	那珂市杉～常陸太田市瑞龍町	10,400	道路改良 〔 幸久大橋を 含む4車線 化工事 〕

市町村名	茨城県那珂市・常陸太田市		
要望箇所	那珂市杉～常陸太田市瑞龍町		
	事業名	道路改良	
	延長 (m)	10,400	
	<p>《現状と要望事項》</p> <p>「那珂市杉」～「常陸太田市瑞龍町」の区間は、福島県及び茨城県北部から茨城県都である水戸市及び常磐自動車道那珂ICへのアクセス道路として重要な役割を担う路線であります。暫定2車線のため、朝夕の通勤時や行楽シーズンには、数キロにも及ぶ大渋滞が生じております。</p> <p>つきましては、本年度、一部区間で4車線化工事が着手されたところでありますが、幸久大橋を含む全区間の早期完成に向け、特段のお力添えを賜りたい。</p>		



国道349号建設促進期成同盟会 構 成 員

会 長	根 本	匠 (衆 議 院 議 員)
	高 橋	靖 (茨城県 水 戸 市 長)
	吉 成	明 (茨城県 日 立 市 長)
副会長	大 久 保 太	一 (茨城県 常陸太田市 長)
	海 野	徹 (茨城県 那 珂 市 長)
	清 水 敏	男 (福島県 い わ き 市 長)
	古 張	允 (福島県 矢 祭 町 長)
副会長	菊 池 基	文 (福島県 塙 町 長)
	大 樂 勝	弘 (福島県 鮫 川 村 長)
	岡 部 光	徳 (福島県 古 殿 町 長)
	澤 村 和	明 (福島県 平 田 村 長)
	大 和 田	昭 (福島県 小 野 町 長)
	富 塚 宥	暲 (福島県 田 村 市 長)
	三 保 恵	一 (福島県 二 本 松 市 長)
	古 川 道	郎 (福島県 川 俣 町 長)
	仁 志 田 昇	司 (福島県 伊 達 市 長)
副会長	保 科 郷	雄 (宮城県 丸 森 町 長)
	大 友 喜	助 (宮城県 角 田 市 長)
	滝 口	茂 (宮城県 柴 田 町 長)

《国道349号全線図》



【沿線市町村】

◎宮城県
柴田町
角田市
丸森町

◎福島県
伊達市
川俣町
二本松市
田村市
小野町
いわき市
平田村
古殿町
鮫川村
塙町
矢祭町

◎茨城県
常陸太田市
日立市
那珂市
水戸市